

わが家の防災メモ

わが家の避難所と緊急避難場所

避難所

緊急
避難場所

家族の連絡先

氏名	生年月日	血液型	既往症	勤務先・学校または携帯電話番号
	T・S・H・R 月 年	型 Rh(+・-)		

医療機関など

連絡先	電話番号

緊急連絡先など

連絡先	電話番号

岩内町役場 **0135-62-1011** 火災・救急 **119** 警察 **110**

▶▶ 防災・気象情報はこちらから

北海道の災害に関する各種情報

北海道防災情報 **検索** <https://www.bousai-hokkaido.jp>

• ご存じですか？もしもの時の安否確認方法 •

災害用伝言ダイヤル **171**

大規模な災害が発生し、安否確認などの電話によって電話回線が混雑し、電話がつながりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人などと連絡を可能にする「声の伝言板」です。

□録音 **171→1→0135→□□□□□→伝言の録音** ※詳しい内容はNTTのホームページで確認して下さい。

▷再生 **171→2→0135→□□□□□→伝言の再生** ホームページ <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

案内放送が流れます…… 市外局番(岩内町) 被災地の方の電話番号

携帯電話災害用伝言板

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。

※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

安否情報まとめて検索 **J-anpi**

「電話番号」または「氏名」を入力することで、通信キャリア各社や各企業・団体(自治体など)が提供する「安否情報を一括で検索・確認」できるサイトです。

※詳しい内容はホームページで確認してください。 **ホームページ** <https://anpi.jp/top>

防災ハンドブック

保存版

2023年3月



岩内町マスコットキャラクター「たら丸」

地震・津波

風水害

土砂災害



岩内町ホームページにも
防災ハンドブックを掲載し
ています。上のQRコード
からご覧ください。



このハンドブックは公益財団法人北海道市町村振興協会
(サマージャンボ宝くじの収益金) の助成を受けて作成
しています。



津波浸水予測 岩内町全域図



地震・津波

地震・津波から身を守るために備えや「とるべき行動」を確認しておきましょう。

▶ 地震の震度（気象庁震度階級）



震度4以上の揺れが予想された場合、全国瞬時警報システム（Jアラート）により防災行政無線で緊急地震速報が流れます。

▶ 地震への備え

地震は突然起ります。家族の安全と被害を最小限に止めるためにも日頃からの準備が必要です。



！ 昭和56年以前の建物は古い耐震基準で建てられているため、耐震診断を受けましょう。

緊急地震速報

地震発生!! → **まず、身を守る!** → **身の回りの安全確保** → **避難の判断を** → **高い場所へ避難!**

地震が起きたら：

- 地震発生!!**: 地震が起きたら、まずは身を守る！ 机やテーブルの下などにもぐり、身を守りましょう。
- まず、身を守る!**: 机やテーブルの下などにもぐり、身を守りましょう。
- 身の回りの安全確保**: コンロなどの火を消しましょう。火が出ても落ち着いて初期消火することが大切です。
- 避難の判断を**: 火災、家屋倒壊の危険やガス爆発など、二次災害の兆候はないか確認しましょう。津波の危険はないか情報を確認しましょう。
- 高い場所へ避難!**: 高い場所へ避難！ 浸水予測外でも安心しない！ 海岸から「より遠く」ではなく、「より高い場所」へ避難しましょう。

危険と判断したら…

避難はできるだけ徒歩で持ち物は少なく！隣近所に声を掛け合いましょう!!

避難時の注意点

- 動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
- 家族や知人への連絡メモを残す。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。

裏表紙の **わが家の防災メモ** を確認し合いましょう！

▶ 津波注意報・警報の種類

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報 (特別警報)	10m超	巨大	・ただちに高い場所など安全な場所へ！ ・より高い場所を目指して避難を！
	10m		
	5m		
津波警報	3m	高い	・海岸から離れる。 ・注意報が解除されるまで海岸に近づかない。
津波注意報	1m	(表記しない)	

！ **津波情報に注意！！** 岩内町の津波予報区は 北海道日本海沿岸南部 です

日本海沿岸で起こる地震による津波の情報は、地震発生後2~3分程度で発表されます。津波の高さは地震の発生状況、地形によって異なります。津波情報は予想される津波の高さで津波注意報、津波警報、大津波警報に分けて発表されますので、津波情報には十分注意して下さい。

○津波は繰り返し来る！ ○弱い地震でも要注意！ ○津波の高さに注意！ ○津波のスピードは速い！

津波は繰り返し来る！: 津波は繰り返し襲ってきて、はじめの波よりも後の波が高くなることがあります。警報・注意報が解除されるまで避難を続けましょう。

弱い地震でも要注意！: 弱い地震でも揺れが長く続いた場合は津波が襲ってくる可能性があります。

津波の高さに注意！: 海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

津波のスピードは速い！: 津波の速度は海岸付近でも時速36km(秒速10m)程度もあるので、津波を見てから避難を始めたのでは間に合いません。



風水害

風水害は、急激に状況が変化する場合があります。異変を感じたら、すぐに避難しましょう。

▶▶ 風水害に備える

! 天気予報や気象情報に注意

台風や豪雨はある程度の時期や規模などを予測できます。普段から気象情報に十分注意して、風や雨に対する対策を立てることが大切です。



! 家の内外を点検整備

トタンがめくれていたり、アンテナが不安定になっていると強風や台風時の被害の元になります。日頃の点検を忘れずに!



! 避難場所・避難経路を確認する

防災ハンドブックに示されたあなたの近くの避難場所やその道順を確認しておきましょう。目印になるものを、おぼえておくと便利です。



! 非常備蓄品・持ち出し品を準備する

いざという時のために、非常備蓄品や持ち出し品を用意しておきましょう。P14を参考に、応用代用を考えながら、家族で準備しましょう。



▶▶ 風雨による危険度のチェックポイント

気象庁は、大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときは「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」を、さらに、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときには「特別警報」を発表します。テレビやラジオ、インターネットなどから最新の情報を入手して、災害に備えましょう。

□ 1時間雨量による雨と被害の目安

やや強い雨 (10~20mm)



ザーザーと降る雨。地面いちめんに水たまりができる。長く続く場合は注意が必要です。

強い雨 (20~30mm)



どしゃ降りの雨。側溝や下水があふれ、小川のはん濫、崖崩れの心配もあります。

激しい雨 (30~50mm)



バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになります。規制も行われます。

非常に激しい雨 (50~80mm)



滝のように降り(ゴーゴーと降り続き)、土石流も発生しやすくなります。

猛烈な雨 (80mm以上)



息苦しくなるような圧迫感があり、雨による大規模災害が発生するおそれがあります。

□ 風と被害の目安

※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。

やや強い風 (風速10~15m/s)



風に向かって歩きにくくなります。樹木や電線が揺れはじめます。

強い風 (風速15~20m/s)



風に向かって歩けず、転倒する人も出ます。看板やトンネル板がはがれはじめます。

非常に強い風 (風速20~25m/s)



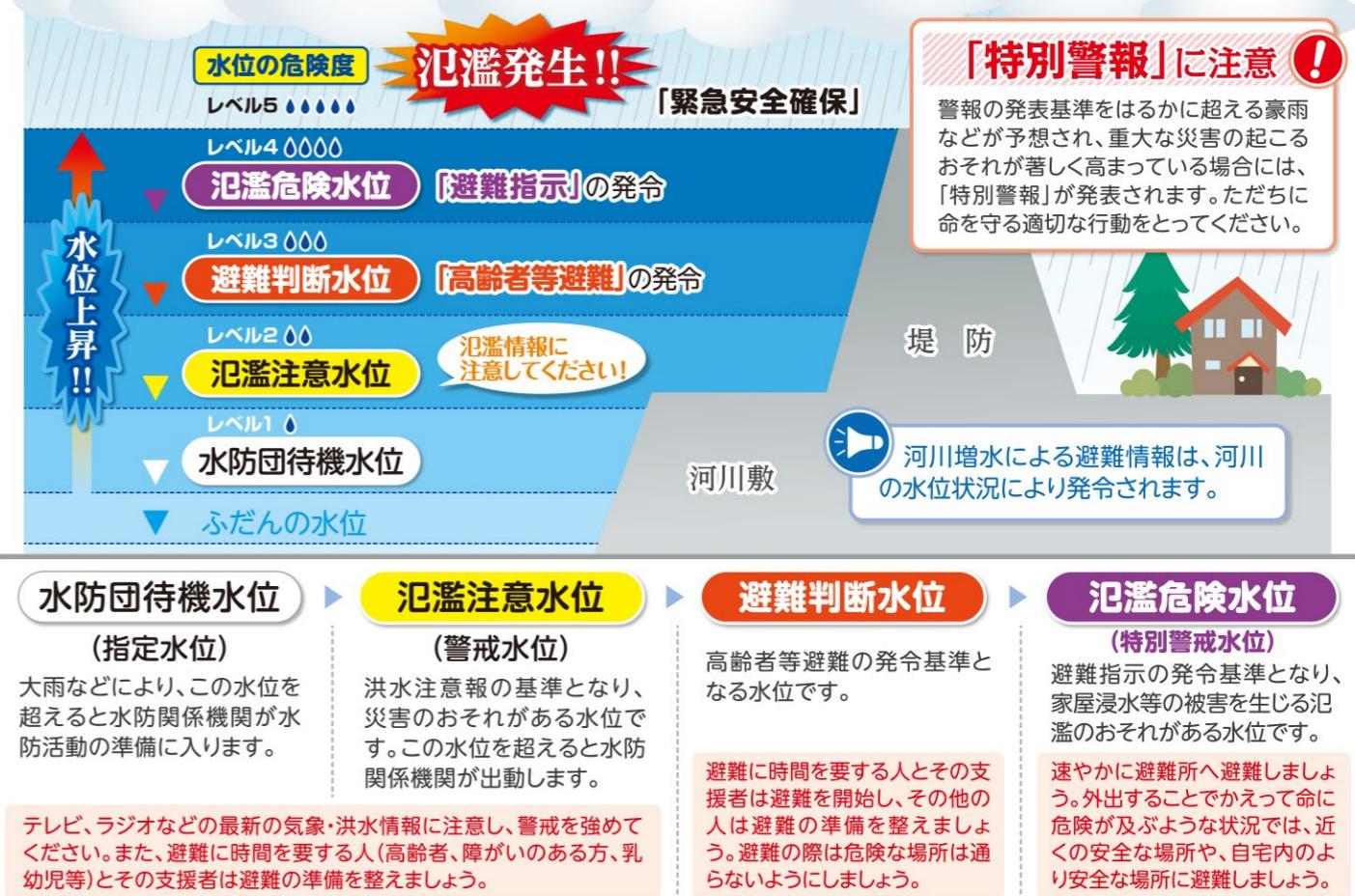
シャッターの破損やビニールハウスが倒壊するなどのほか、風で飛ばされた物で窓ガラスが割れるおそれもあります。

猛烈な風 (風速30m/s以上)



屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊なども発生するようになります。

▶▶ 河川の水位に注意!(気象庁より注意報・警報の発令)



▶▶ そのほかにもさまざまな災害に注意しましょう



竜巻 被害が増えています! 建物の倒壊、車の転倒、倒木などのおそれがあります。

竜巻注意情報が発表されたら…

- ! 空の様子に注意する
- ! 気象庁「竜巻発生確度ナウキャスト」を確認

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/?contentType=2>

以下のような場合は**頑丈な建物などでしばらく避難!**

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 空が暗くなる | <input checked="" type="checkbox"/> ヒヤッとした風がふき出す |
| <input checked="" type="checkbox"/> 大粒の雨が降り出す | <input checked="" type="checkbox"/> ひょうが降る |
| <input checked="" type="checkbox"/> 雷の音が聞こえる | |

▲雷が聞こえたらすぐ避難

- 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。
- 屋外にいる場合は、安全な場所に避難しましょう。

▲建物の中や自動車へ避難

- 建物や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。
- 雨宿りで木の下に入るのは危険です。

▲木や電柱から4m以上離れる

- 落雷を受けた樹木などのそばに人がいると、その樹木などから人体へ雷が飛び移ることがあります。
- 近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。

▲運転中、暴風雪に遭ったら外に出ない

- 停車する場合はハザードランプを点灯し、むやみに車外に出ないようにしましょう。
- 排気口に雪が詰まると、排気ガスが逆流し、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。積雪が多い場合はエンジンをなるべく切りましょう。

▲除雪は一人で行わない

- 除雪作業は2人以上で行い、携帯電話を携行しましょう。
- 屋根の雪落しの際には、はしごの固定を忘れずに。
- 晴天の日は雪が緩むため注意しましょう。
- 除雪機の雪詰まりを直すときは、必ずエンジンを切ってから行いましょう。

土砂災害

雨や雪、地震などの影響で土砂災害の発生につながることがあります。前兆等の注意点を確認しましょう。

▶▶ 土砂災害に備える

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強い雨が続いた時に発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

こんな「前兆現象」はありませんか？

土砂災害2～3時間前に多く見られる前兆現象
土砂災害1～2時間前に多く見られる前兆現象
土砂災害の直前に多く見られる前兆現象



家の周囲の状況は？

- いつもあふれたことがない河川が氾濫している（しそう）
- いつもあふれない側溝があふれている
- いつもは冠水しない道路が冠水している
- 近くの道路でかけ崩れ（落石含む）が発生している
- 周辺地域で土砂災害が発生している
- 上記以外に周辺地域でいつも違う異常な状況が認められる

危険を感じたら早めに
「安全な場所に避難」
しましょう!

すぐに指定避難所への避難が不可能、または危険が迫っている場合は**危険区域外**や、**できるだけ高いところ（自宅の2階など）**に避難しましょう。

※前兆現象は1つの目安です

土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒にになって激しく流れ下る現象。

地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。

※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください。

がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。

▶▶ 風水害・土砂災害から身を守る

正確な情報収集と自主的避難を

テレビやラジオなどで最新の気象・災害情報を入手しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら避難準備を始めましょう。



P13 インターネットやアプリも活用しよう!

避難の呼びかけに注意を

災害の危険が迫った時には、役場や消防から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合は、指示に従い速やかに避難してください。



避難する時は裸足や長靴は避け、ひもで締められる運動靴などを履きましょう！

避難する前に

あらかじめ避難所を確認しておき、避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



助け合って避難を

できる限り1人の避難は避けましょう。高齢者や子どもは避難に時間がかかる場合があり、早めの避難が必要です。家族だけではなく、近所の人の避難にも協力しましょう。



車での避難は控える

自動車での避難は緊急車両の妨げや、駐車場スペースの問題等がありますので、できる限り控えましょう。また、自動車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。



車が浸水したらすぐ外へ！

水深が約30cm前後に達すると、車のエンジンが停止する可能性があり、水深と流速が増すと車ごと流される危険性もあります。車が浸水した場合は、すぐに外に出ましょう。



歩ける深さに注意！

浸水した場合、歩ける深さの目安は、ひざ下くらいまでです。水深が腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。



避難に遅れたら…

万一、避難に遅れ危険が迫った時には、自宅の2階か近くの頑丈な建物のできるだけ高い所に逃げましょう。（垂直避難）



垂直に避難する！

▶▶ 避難情報について

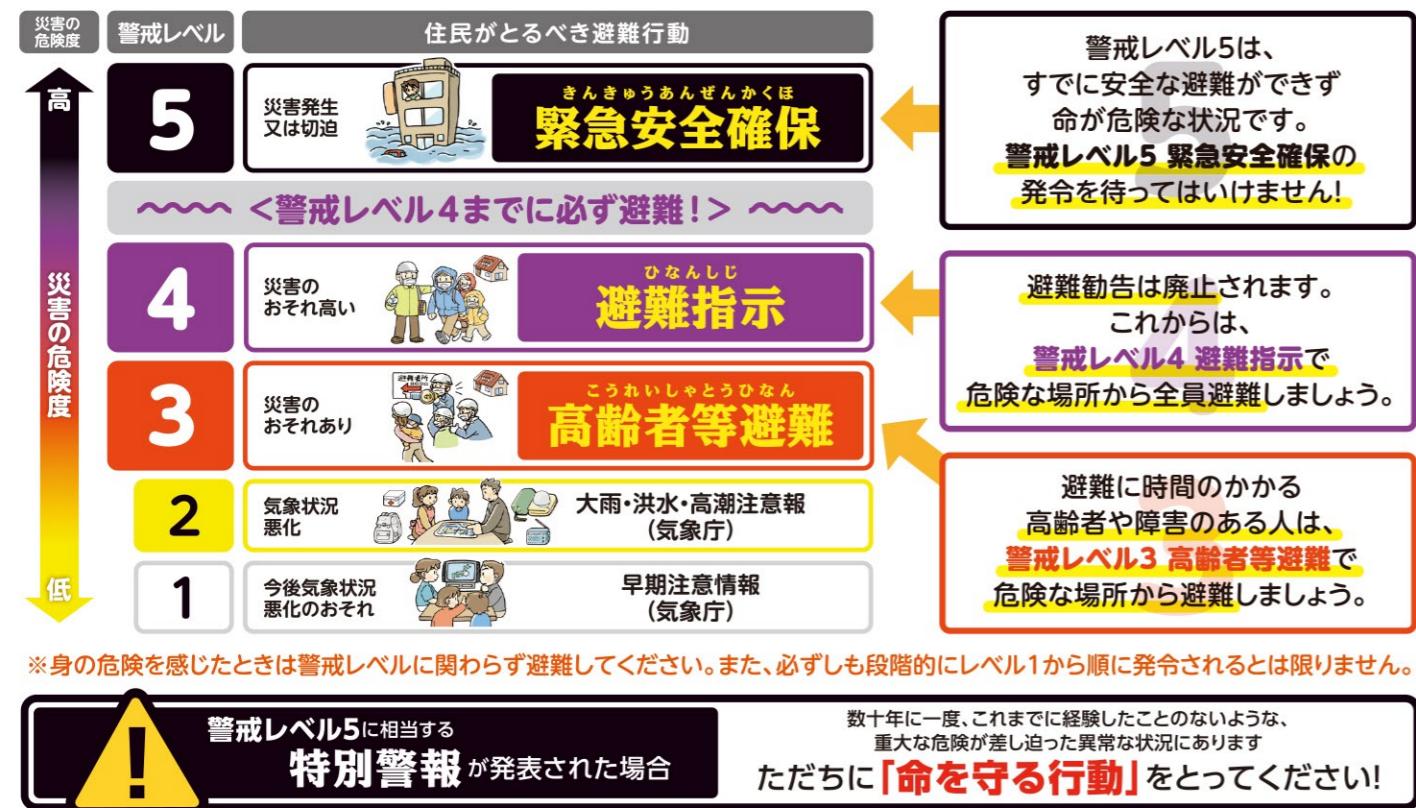
風水害・土砂災害の「警戒レベル」情報が整理されました

災害基本法が改正されて、令和3年5月20日から警戒レベル4は、「避難指示」に一本化されました。
(避難勧告は廃止となります。) また、次のように名称も変わりました。

●警戒レベル5 → 「緊急安全確保」

●警戒レベル3 → 「高齢者等避難」

●警戒レベルと避難行動



災害情報の伝達経路



▶▶ 指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所 一覧表

- 指定緊急避難場所**とは、災害が発生した場合に、その危険から緊急に逃れるための場所です。地震・津波災害による避難場所は、記載の地震・津波災害時の避難場所(令和5年4月時点:施設9箇所・公園2箇所)ですので、お近くの避難場所を確認しておき、津波被害が予想されるときは、速やかにそこへ避難してください。
- 指定避難所**とは、災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在するための施設です。台風・豪雨・土砂災害などにより指定避難所を開設するときは、その状況により、記載の指定避難所から開設場所を決め、皆さんに防災行政無線などでお知らせいたします。
- 福祉避難所**とは、高齢者、障がいのある方、乳幼児、妊産婦など、特別の配慮を必要とする方が避難するために開設する避難所です。

▶ 指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所

岩内町が指定している避難場所、避難所、福祉避難所は、以下のとおりです。

日頃から、近くにある避難場所などを確認しておきましょう。

※施設の安全性などを確認した後、避難所を開設します。(災害の状況などにより、一部の避難所に限って開設する場合があります。)

番号	名 称	所在地	電話番号 (0135)	指定緊急避難場所 (地震・津波)	指定避難所	福祉避難所
①	岩内地域人材開発センター	東山 8-16	62-2183		△	
②	東山保育所 (令和5年3月末廃止予定)	東山 9	62-1340		△	
③	いわない東保育所 (令和5年4月供用開始予定)	東山 82-1	62-7555	△	△	
④	東小学校	東山 130	62-0246	△	△	○
⑤	地域交流センター (令和5年7月末廃止予定)	高台 202	62-0146	△	△	
⑥	町民体育館 (令和5年7月末廃止予定)	高台 203-1	62-2266	△	△	
⑦	働く婦人の家	高台 6	62-7462	△	△	
⑧	岩内高等学校	宮園 43-1	62-1445	△	△	○
⑨	中央保育所 (令和5年3月末廃止予定)	宮園 7-1	62-2466		△	
⑩	老人福祉センター	清住 167	62-3328		△	
⑪	いわない西保育所	相生 12-13	62-1162		△	
⑫	西小学校	野束 172-1	62-0263	△	△	○
⑬	第一中学校	宮園 313-20	62-0333	△	△	○
⑭	第二中学校	野束 41	62-0289	△	△	○
⑮	デイサービスセンター	野束 69-35	61-2046	△	△	
⑯	岩内地方文化センター	万代 51-7	62-0001	△	△	
⑰	岩内町保健センター	高台 134-1	67-7086	△	△	○
⑲	東山公園	東山 9		△	△	
⑳	運動公園	宮園		△	△	

※福祉避難所については、上記のほか、「岩内あけぼの学園」、「コミュニティホーム岩内」を指定しております。

△ ▶津波時使用不可

☒ ▶洪水時使用不可

▶ 防災関連施設

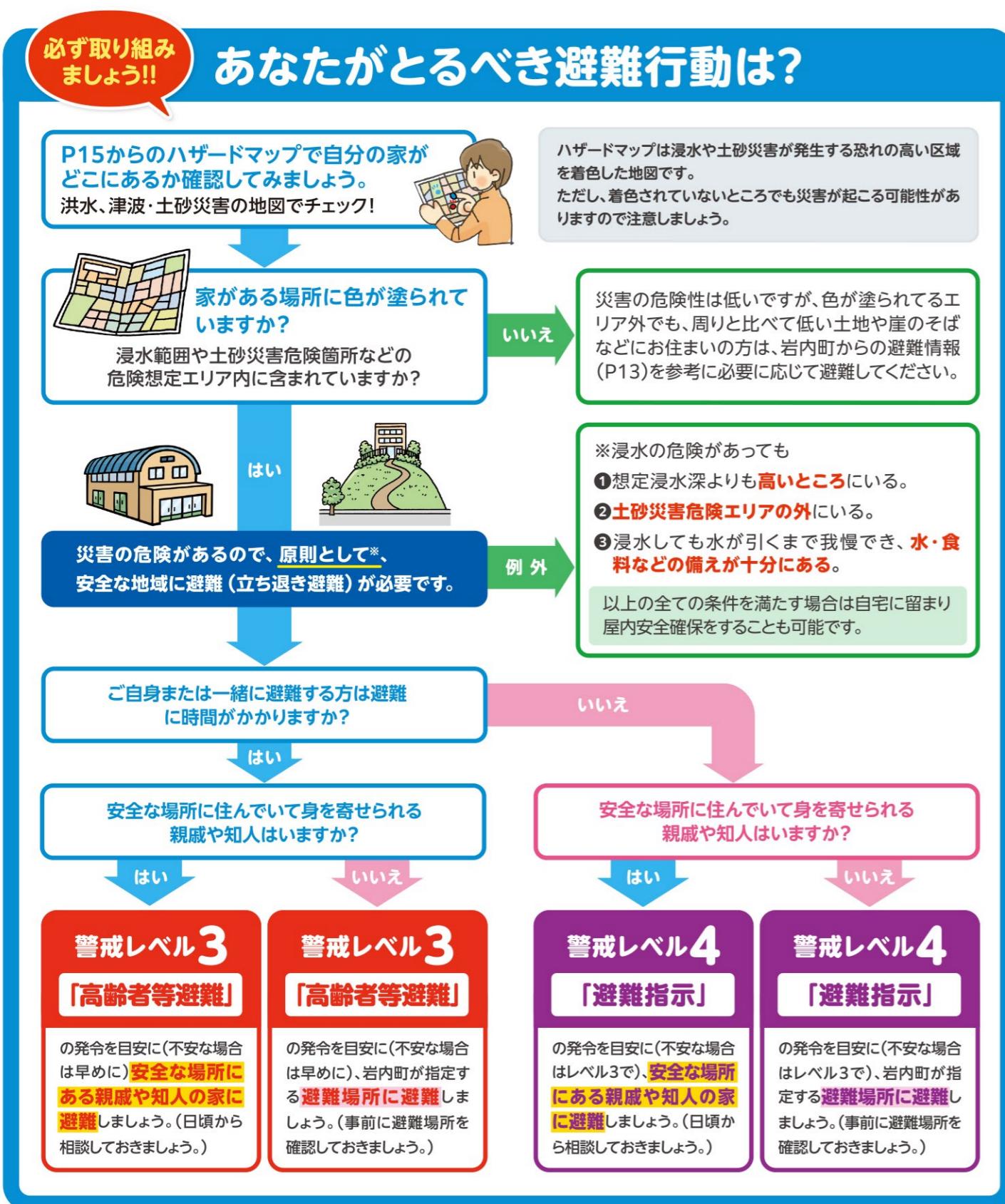
名 称	所在地	電話番号 (0135)
岩内町役場	高台 134-1	62-1011
岩内消防署	高台 8-1	62-1141
岩内警察署	高台 5	62-0110
マリンプラザ交番	万代 48-6	62-0186
岩内協会病院	高台 209-2	62-1021
北電岩内営業所	大浜 5-4	62-1512
小樽開発建設部岩内道路事務所	東山 104	62-1491
小樽建設管理部共和出張所	共和町老古美 83	62-1818

災害前に、自宅が安全かどうかを確認しましょう!

分散避難のお願い

▶▶ 避難行動判定フロー

災害時に、避難行動を冷静に判断するのはなかなか難しいことです。家族全員で災害時の避難行動を下記のフローチャートを見ながら事前に確認しておきましょう。



▶▶ 感染症が流行している状況下の避難のあり方について

新型コロナウイルスなどの感染症が流行している状況において、災害時の避難所に多くの方が集まると、密集した空間での集団生活により、感染症の拡大リスクが高まるおそれがあります。

岩内町では、災害時に避難所を開設した場合、十分なスペースの確保や換気、消毒の徹底など、可能な限り衛生環境の確保に努めてまいりますが、避難者を分散し、町全体の感染拡大リスクを抑えるため、町民のみなさまには次のとおり「分散避難」のご協力をお願いします。

ご協力いただきたいこと

①自分の住んでいる場所が「避難の必要がある場所か」確認



岩内町で作成しているハザードマップ(洪水、津波・土砂災害)でご自分の住んでいる場所が避難の必要な危険区域かどうかを確認してください。

※岩内町ホームページにもこの防災ハンドブックを掲載しています。こちらのQRコードから▲

②「親戚や友人、知人の家へ避難が可能か」確認



公共施設などの避難所だけでなく、災害危険のない親戚や友人、知人の家などへ避難できないか確認してください。

③「避難には感染のリスクがあることを確認



避難の際には、災害時の持ち出し品のほか、可能な限り「マスク」「消毒液」「除菌シート」「体温計」などの感染防止の資材をご持参ください。

避難するときのお願い・注意点

- 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス等がまん延している中でも、災害が起ってしまった場合は、躊躇せず避難してください。まずは「自分・家族の命を守ること」を最優先してください。
- 非常持ち出し品、感染防止物品をあらかじめ準備しておき、安全確実に避難しましょう!

正確な災害情報と災害への備え

▶▶ 正確な情報を入手する

災害時は情報が錯綜し、混乱を招く場合があります。

大切なのは「最新の正しい情報」を入手し、行動することです。いざという時に備え、どのような情報がどのようにして入手できるのかを確認しておきましょう。

天候の悪化が見られる場合は、早めにチェックする習慣をつけましょう。

気象や防災に関する情報はテレビやラジオのほか、次のウェブサイトなどからも入手できます。



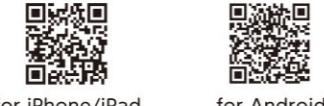
岩内町ホームページ

岩内町からの各種お知らせや、防災情報などを確認することができます。(緊急時は防災行政無線)



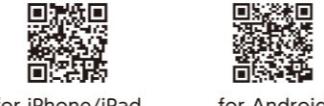
Yahoo! 防災速報 アプリ

アプリをダウンロードすると岩内町の気象情報、避難情報、河川情報等をることができます。



NHKニュース・防災 アプリ

NHK公式のアプリ。マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェックでき、ライブ放送の同時提供もあります。



北海道の防災情報

北海道防災ポータル



気象情報

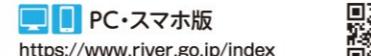
気象庁 札幌管区気象台



雨量・水位情報

国土交通省 川の防災情報

大雨などの際に、雨や川の水位の状況などを、インターネットを通じてリアルタイムに配信。



▶▶ 避難時の服装

避難する場合は、ケガを防ぐことや、動きやすさに注意し、図のような服装が望ましいです。非常時持ち出し品などの荷物をリュックサックにまとめることで、両手が使いやすくなります。

※長靴は厳禁!!

水害時に水が入って重くなり、動きづらく危険



非常時の持ち出し品・備蓄品

▶▶ 非常時の持ち出し品・備蓄品を準備する

いざという時のために下記リストを参考に準備しましょう。また、備蓄品の飲食物は保存期限に注意しましょう。

非常時の持ち出し品 (すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう。)

- 貴重品 現金 キャッシュカード 預金通帳 印鑑 免許証
- 健康保険証 マイナンバーカード



- 非常食 飲料水(ペットボトル) 栄養補助食品 菓子類



- 応急医薬品 お薬手帳 持病薬 常備薬(風邪薬・傷薬など) *感染対策用に必ず!
 ばんそうこう 消毒液 マスク 除菌シート 体温計



- 生活用品 衣類 防寒着 雨具 タオル ティッシュ(ウェット)
 運動靴 軍手 帽子又は防災ズキン ライター
 ビニール袋 生理用品 ラップフィルム



- その他 携帯ラジオ 携帯電話 充電器 懐中電灯 ホイッスル
 電池 筆記用具 メガネ 思い出の品



備蓄品 (3日以上の備蓄を心がけましょう。)

- 食料・飲料水 飲料水(1人1日3リットル) 缶詰やレトルト食品
 栄養補助食品 インスタント食品



- 燃料など 卓上コンロ ガスボンベ 固形燃料



- 生活用品 毛布 寝袋 洗面用具 鍋 やかん バケツ
 トイレットペーパー 携帯トイレ 使い捨てカイロ



- その他 ビニールシート 新聞紙 ろうそく ガムテープ
 ロープ ポリタンク



赤ちゃんや介護を必要とするお年寄りなどがいる場合は、次のようなものも必要です。

赤ちゃんがいる場合

- ミルク、ほ乳びん
 離乳食、食器
 お尻拭き
 帽子、防寒着
 バスタオル
 ガーゼハンカチ
- 乳幼児用の薬
 母子健康手帳
 消毒剤
 紙おむつ
 おんぶひも
 衣類(着替え)

介護を必要とするお年寄りがいる場合

- おかゆなどの食料品(介護食)
 障害者手帳、介護保険証など
 紙おむつ
 帽子、防寒着
 衣類(着替え)

- 介護用品
 お尻拭き
 常備薬

※介護の状態などに応じて備えてください。

ローリングストック法の実践

日常の食材のストックと災害用の食料品とを分けずに、常に少し多めに一定量の食料品を家に備蓄しておく方法をローリングストック法と言います。ローリングストック法のポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが目的です。

少しだけ多めに備える



食べた分はすぐに買い足す



古いものから順に食べる

①古いものから使うこと

備蓄する食料が古くなってしまわないよう、必ず一番古いものから使うようにしましょう。新しいものを奥に配置し、手前の古いものから使っていく、というように、備蓄方法のルールを決めて上手に循環させることができます。

②使った分は必ず補充すること

ストックしているものはいつ食べても構いませんが、消費した分は必ず買い足すようにしましょう。補充を怠ったタイミングで災害が来る可能性もあります。消費した分の補充は必ず直後に行いましょう。

市街地拡大図 洪水ハザードマップ

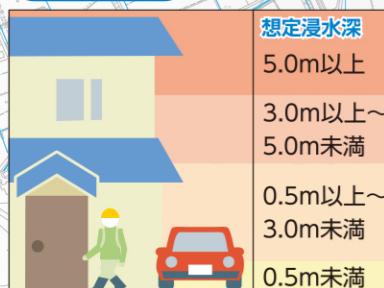
地図の見方

防災関連施設等

	指定緊急避難場所(地震・津波)
	指定避難所
	指定避難所(津波時使用不可)※
	指定避難所(洪水時使用不可)※
	役場
	消防署
	警察署・交番
	病院
	屋外拡声器
	ヘリポート
	国道
	県道

※印の避難所は、安全を確認した後に開設します。

浸水の深さ



この図は、野束川水系野束川に、想定し得る最大規模の大雨(国土交通省:浸水想定(洪水、内水))の作成等のための想定最大外力設定手法)が降ったことにより、浸水した場合に想定される水深を簡便な手法で計算し示したもので

対象降雨

野束川水系野束川流域に1時間雨量120mmの大雨が降ったことにより、避難の目安となる氾濫域を示したもので。また、1時間雨量120mm以下の場合でも氾濫する可能性があるので、河川周辺や浸水深が深い範囲の住民は降雨状況に十分注意してください。

洪水氾濫危険区域図は、河川断面など詳細な調査をしていない簡単な手法であるため、浸水範囲や浸水深などは概略で示していることから、表示以上の浸水深になることや浸水が予想されていない箇所でも浸水が起こる可能性があります。

日本海

1 : 10,000

岩内町(雷電地区を除く)津波・土砂災害ハザードマップ

地図の見方

防災関連施設等

■	指定緊急避難場所(地震・津波)
△	指 定 避 難 所
▲	指 定 避 難 所(津波時使用不可)※
✖	指 定 避 難 所(洪水時使用不可)※
□	役 場
○	消 防 署
◎・×	警 察 署・交 番
+	病 院
●	屋 外 拡 声 器
(H)	ヘ リ ポ ー ト
—	国 道
—	道 道

※印の避難所は、安全を確認した後に開設します。

土砂災害警戒区域等

■	土砂災害警戒区域(かけ崩れ)
■	土砂災害特別警戒区域(かけ崩れ)
■	土砂災害警戒区域(土砂流)
←	土砂災害警戒区域の避難経路
流域 はん遷域	土石流危険渓流箇所(土石流の危険がある箇所)
■	急傾斜地崩壊危険箇所(かけ崩れの危険がある箇所)
■	地すべり危険箇所(地すべりの危険がある箇所)

津波災害警戒区域 基準水位(m)

10m ~ 20m
5m ~ 10m
3m ~ 5m
1m ~ 3m
0.5m ~ 1m
0.3m ~ 0.5m
~ 0.3m

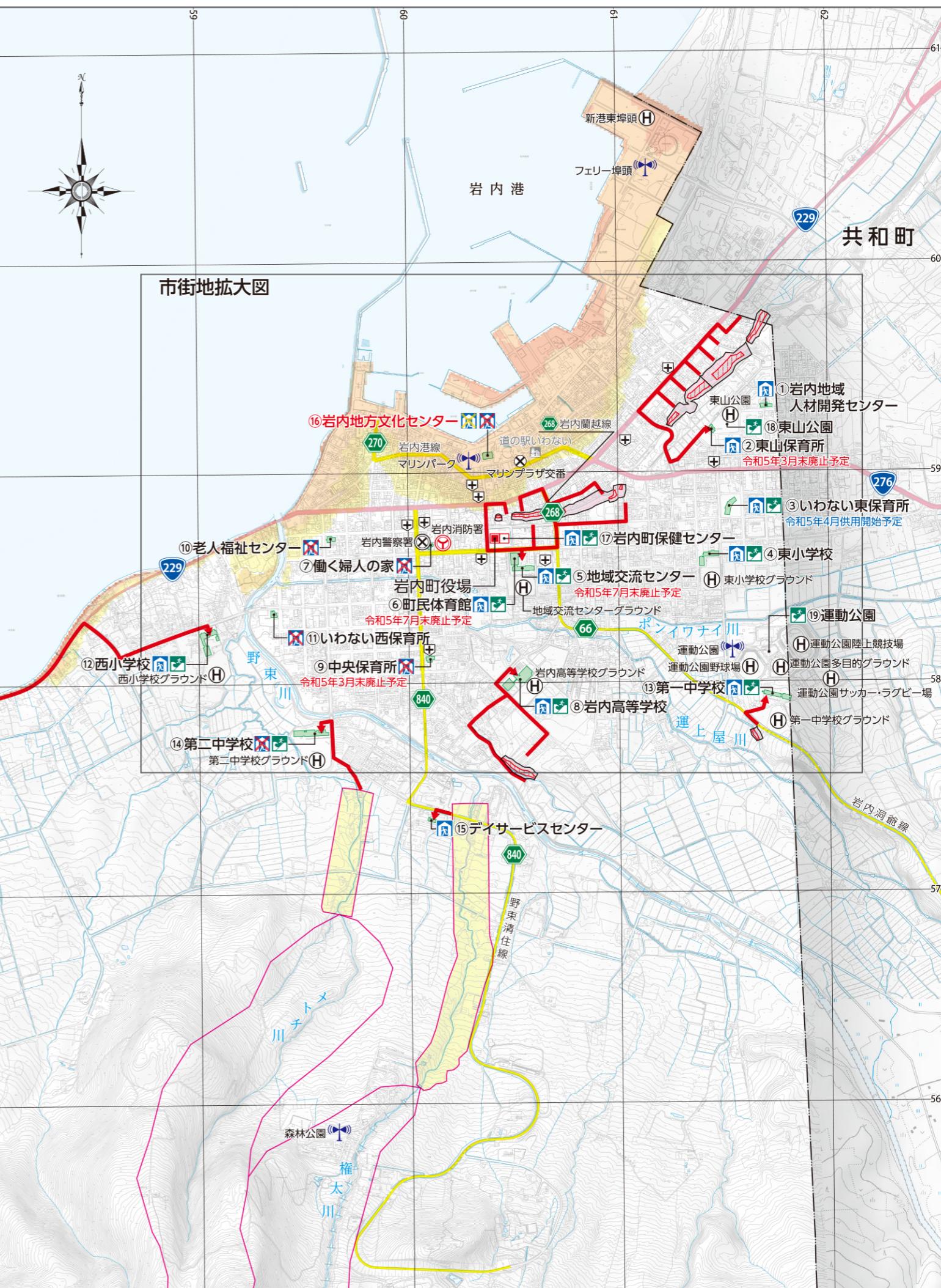
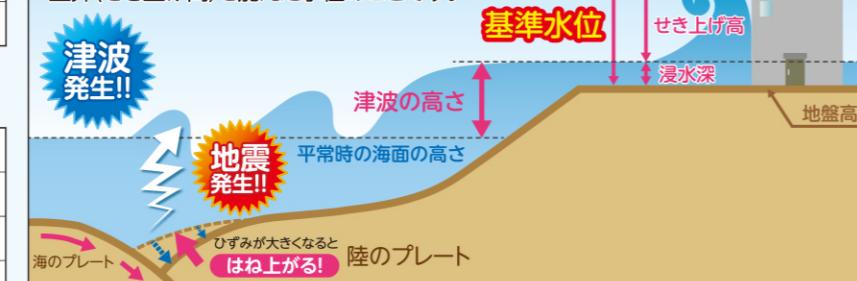
(平成30年5月8日北海道指定)

津波の危険があります

このマップには北海道が公表した日本海沿岸における最新(平成29年)の津波シミュレーション結果を反映した「津波浸水予測範囲」を掲載しています。地震の震源が陸地に近いなど、条件が異なる場合は浸水範囲以外でも浸水する可能性があるため、ご注意ください。

●基準水位とは

津波の浸水深に、建築物等への衝突による津波の水位上昇(せき上げ高)を加えた水位のことです。



測量法に基づく国土地理院長認定(R3JHs 251-GISMAP51313号)及び平成23年度2,500現況図データを縮小して使用した。

市街地拡大図 津波・土砂災害ハザードマップ

地図の見方

防災関連施設等

	指定緊急避難場所(地震・津波)
	指定避難所
	指定避難所(津波時使用不可)※
	指定避難所(洪水時使用不可)※
	役場
	消防署
	警察署・交番
	病院
	屋外拡声器
	ヘリポート
	国道
	道道

※印の避難所は、安全を確認した後に開設します。

津波災害警戒区域	基準水位(m)
10m ~ 20m	10m ~ 20m
5m ~ 10m	5m ~ 10m
3m ~ 5m	3m ~ 5m
1m ~ 3m	1m ~ 3m
0.5m ~ 1m	0.5m ~ 1m
0.3m ~ 0.5m	0.3m ~ 0.5m
~ 0.3m	~ 0.3m

(平成30年5月8日北海道指定)

日本海

土砂災害警戒区域等

	土砂災害警戒区域(かけ崩れ)
	土砂災害特別警戒区域(かけ崩れ)
	土砂災害警戒区域(土砂流)
	土砂災害警戒区域の避難経路
	土石流危険渓流箇所(土石流の危険がある箇所)
	急傾斜地崩壊危険箇所(かけ崩れの危険がある箇所)
	地すべり危険箇所(地すべりの危険がある箇所)



この地図は平成23年度2,500現況図データを縮小して使用した。

岩内町 雷電地区 津波・土砂災害ハザードマップ

地図の見方

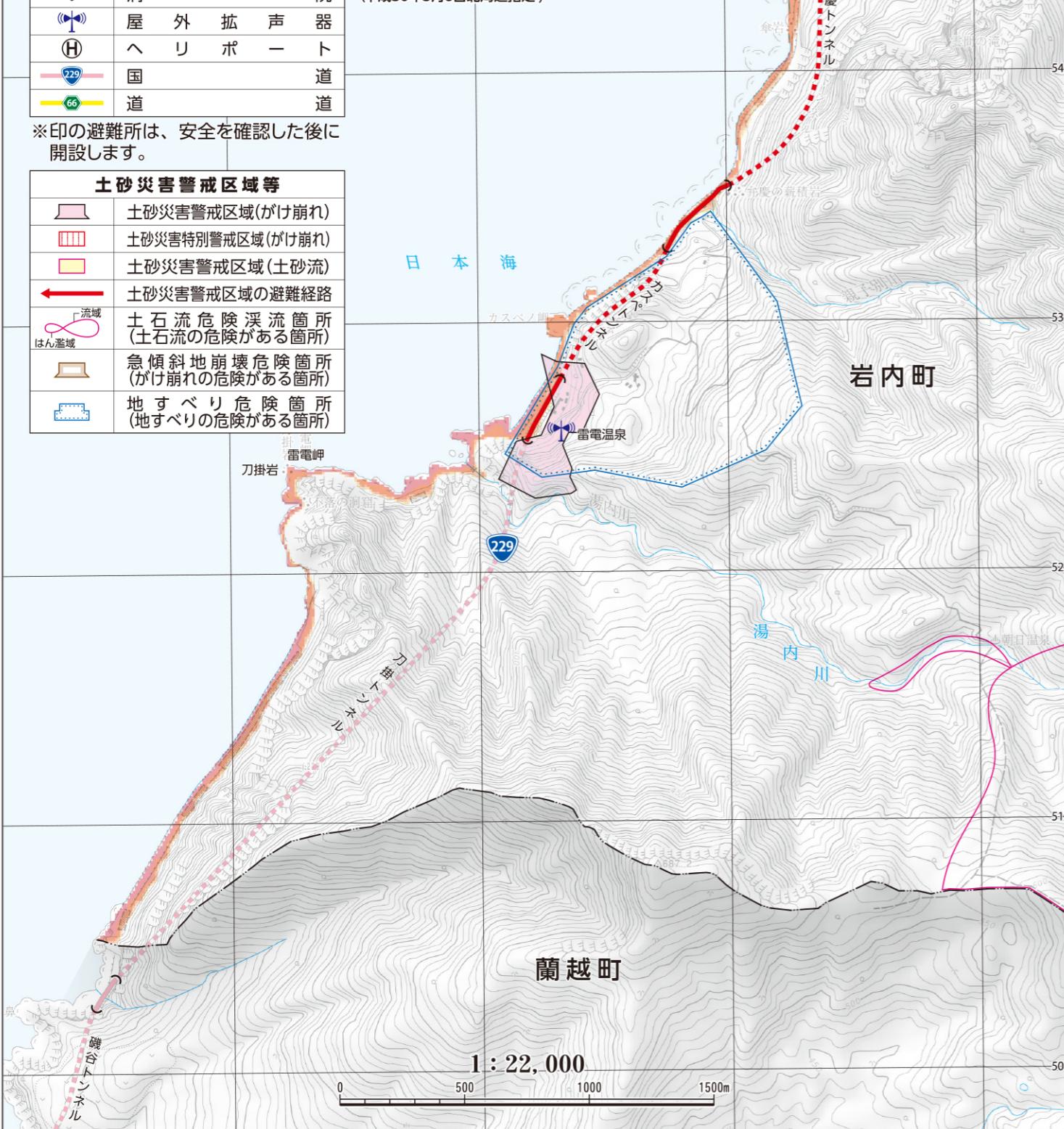
防災関連施設等	
	指定緊急避難場所(地震・津波)
	指定避難所
	指定避難所(津波時使用不可)※
	指定避難所(洪水時使用不可)※
	役場
	消防署
	警察署・交番
	病院
	屋外拡声器
	ヘリポート
	国道
	県道

※印の避難所は、安全を確認した後に開設します。

土砂災害警戒区域等	
	土砂災害警戒区域(かけ崩れ)
	土砂災害特別警戒区域(かけ崩れ)
	土砂災害警戒区域(土砂流)
	土砂災害警戒区域の避難経路
	土石流危険渓流箇所(土石流の危険がある箇所)
	急傾斜地崩壊危険箇所(かけ崩れの危険がある箇所)
	急傾斜地崩壊危険箇所(かけ崩れの危険がある箇所)
	地すべり危険箇所(地すべりの危険がある箇所)

津波災害警戒区域	基準水位(m)
10m～20m	10m～20m
5m～10m	5m～10m
3m～5m	3m～5m
1m～3m	1m～3m
0.5m～1m	0.5m～1m
0.3m～0.5m	0.3m～0.5m
～0.3m	～0.3m

(平成30年5月8日北海道指定)



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs 251-GISMAP51313号

・・・助け合って避難しましょう・・・

► 防災対策の基本は「自助」「共助」「公助」の連携です

防災対策は、自助(自らの安全は自らで守ること)、共助(地域の助け合いのこと)及び公助(行政機関の実施する対策のこと)の連携が重要です。大規模災害時は、公助には限界があるため、「自らの命は自らが守る」という自助、そしてご近所同士で助け合うという共助の意識を持つことが被害の最小化につながります。

► 避難行動要支援者を手助けしましょう

高齢者や障がいのある方、妊娠されている方など、災害が発生した時に手助けが必要な方を「避難行動要支援者」といいます。これらの方を災害から守るために、日ごろから地域で協力し、支援していきましょう。

日頃の備え…地域のコミュニケーション



寝たきりの高齢者や障がいのある方の把握と交流

災害発生時には…避難の支援



避難準備の際は、優先的に手助けをする

► 町内会・自治会などを単位として自主防災組織をつくりましょう

自主防災組織とは「自分たちの地域は自分たちで守る」を理念とし、安心できるまちづくりをすすめるために、町民の皆さんのが協力しあって防災活動を行う組織です。町内会・自治会などを中心にみんなで話し合い、できることからはじめましょう。

► 活動例

※自主防災組織についての具体的なことは、役場(危機管理係)までご相談下さい。

本部

平常時の活動

役場、消防署などと連絡調整を行い、防災活動に備えます。



災害時には

各活動班、役場、消防署などと連絡調整を行い、現場をまとめます。



救出・救護班

平常時の活動

救出用資機材の使用法、負傷者の搬出法、応急手当法の習得訓練を行い、医療施設や救護所の位置を確認しておきます。また、活動用資機材の整備点検を行います。

災害時には

資機材を用いて救出作業を行うとともに、負傷者の応急手当を行い、医療施設や救護所に搬送します。



情報連絡班

平常時の活動

防災訓練や講習会を通じて防災知識の普及活動を行います。また、回覧やチラシなどで住民へ防災啓発活動を行います。

災害時には

役場や消防機関から情報を収集し、住民に対して正しい情報を伝達します。また、地域の被害状況や避難状況を役場へ報告します。



避難誘導班

平常時の活動

複数の避難経路・避難場所を把握しておき、誘導訓練を行います。また、地域内の危険箇所を把握しておくことも必要です。

災害時には

組織として安全な行動がとれるよう、避難場所までの確に住民を誘導します。



消防班

平常時の活動

複数の避難経路・避難場所を把握しておき、誘導訓練を行います。また、地域内の危険箇所を把握しておくことも必要です。

災害時には

周辺住民の協力を求めて初期消火を行い、火災の拡大を防ぎます。



給食・給水班

平常時の活動

火災が発生した時に地域内に被害の発生、拡大につながる原因がないうか確認したり、住民に対し消火器具の点検や効果的な消火技術の習得を行います。



災害時には

物資の備蓄・管理を行うとともに、炊き出し訓練などを行います。



弾道ミサイル飛来時にとるべき 身の安全を守るためにの 行動について

北朝鮮は過去に例を見ない頻度で弾道ミサイルを発射し、昨年の10月には日本上空を通過し太平洋上に落下する事案も起こっています。

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、国から緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート（全国瞬時警報システム）」を活用して、防災行政無線やテレビ・ラジオにより緊急情報のお知らせがあります。

岩内町内に緊急情報が伝達されるのは、北海道や東北地方にミサイルの飛来が予測される場合です。

- ①速やかな避難行動
- ②正確かつ迅速な情報収集

に努めていただき、落ち着いて行動してください。

ミサイル発射情報が流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外にいる場合

建物の中、
または地下施設に
避難する。

建物がない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて
頭部を守る。

屋内にいる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。
ミサイル着弾時の爆風や
破片などによる被害をさけるため

近くに
ミサイル
落下！

屋外にいる場合

口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、
密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

屋内にいる場合

換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
【落下物には有害な燃料が付着している場合も考えられます】

内閣官房ポータルサイト
<https://www.kokuminhogo.go.jp/>



北海道 弾道ミサイル落下時の行動
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/kts/oshirase.html>



岩内町役場 危機管理課 TEL 0135-62-1011 FAX 0135-62-3465

この資料は、国が示した内容に基づき作成しています。

裏面に避難施設を掲載しています。

岩内町内避難施設一覧

(北海道指定)

ミサイル発射情報が流れたら、
まずは表面のとおり行動(屋外の場合、近くの建物に避難)してください。

番号	名 称	所在地	電話番号 (0135)
①	岩内地域人材開発センター	東山8-16	62-2183
②	東山保育所 (令和5年3月末廃止予定)	東山9	62-1340
③	いわない東保育所 (令和5年4月供用開始予定)	東山82-1	62-7555
④	東小学校	東山130	62-0246
⑤	地域交流センター (令和5年7月末廃止予定)	高台202	62-0146
⑥	町民体育館 (令和5年7月末廃止予定)	高台203-1	62-2266
⑦	働く婦人の家	高台6	62-7462
⑧	岩内高等学校	宮園43-1	62-1445
⑨	中央保育所 (令和5年3月末廃止予定)	宮園7-1	62-2466
⑩	老人福祉センター	清住167	62-3328
⑪	いわない西保育所	相生12-13	62-1162
⑫	西小学校	野束172-1	62-0263
⑬	第一中学校	宮園313-20	62-0333
⑭	第二中学校	野束41	62-0289
⑮	デイサービスセンター	野束69-35	61-2046
⑯	岩内地方文化センター	万代51-7	62-0001
⑰	岩内町保健センター	高台134-1	67-7086
⑱	道の駅いわない	万代47-4	63-1155

* 各避難施設の場所については、「防災ハンドブック」のハザードマップでご確認ください。